

試験研究成果普及情報

部門	花植木	対象	普及
課題名：南房総地域の花摘みに適した新たな品目			
<p>〔要約〕南房総地域における冬場の花摘みに適した品目として、ダイアンサスのフォトンシリーズとアグロステンマ「ギタゴ」、スプレーストックのカルテットシリーズが有望である。スプレーストックは分枝仕立てにすることで、面積当たりの切り花本数が増加して収穫期間も延長できる。</p>			
キーワード：南房総地域、花摘み、ダイアンサス、アグロステンマ、スプレーストック			
実施機関名	主 査	農林総合研究センター・暖地園芸研究所・野菜・花き研究室	
	協力機関	夷隅農業事務所、安房農業事務所、君津農業事務所	
実施期間	2010年度～2013年度		

〔目的及び背景〕

南房総地域には、花を求めて訪れる観光客が多く、現在は年末から3月にかけて各所で観光花摘み園がオープンし、イチゴの摘み取りと組み合わせた観光ルートにもなっている。しかし、観光花摘み園では、花摘みの品目数が少なく、開園期間が短い等の問題が生じている。そこで、摘み取りに適した新たな花き品目を選定するとともに、収穫期間を延長する栽培技術を開発する。

〔成果内容〕

- 1 摘み取り用花きの新品目では、ダイアンサスのフォトンシリーズ（（株）サカタのタネ、写真1）とアグロステンマの「ギタゴ」（タキイ種苗（株）、写真2）、スプレーストックのカルテットシリーズ（（株）サカタのタネ、（株）ミヨシ等、写真3）が有望である。上記3品目は、切り花の日持ち日数が1週間以上と長く、日持ち性に優れる（表1）。
- 2 ダイアンサスのフォトンシリーズは8月下旬から9月中旬にかけて、定植をずらしながら栽培すれば、秋から春にかけて安定した摘み取りが可能となる（表2、図1）。
- 3 アグロステンマ「ギタゴ」は8月下旬～9月上旬に定植して栽培すれば、年末から春にかけて安定した摘み取りが可能となる（表3、図2）。
- 4 スプレーストックのカルテットシリーズは9月中旬から10月中旬にかけて、定植をずらしながら、本葉15枚が完全展葉した時点で摘心し、その後に発生する側枝を枝切り収穫する分枝仕立てで栽培すれば、1株から7本の切り花が得られるうえ、年末から春にかけて安定した摘み取りが可能となる（表4、図3）。

[留意事項]

スプレーストックのカルテットシリーズの内、分枝仕立ての適用を確認済みの品種は「イエローカルテット」、「チェリーカルテット」、「ピンクフラッシュカルテット」、「ホワイトカルテット」、「マリンカルテット」、「レインボーカルテット」の6品種。他品種については未確認。

[普及対象地域]

南房総地域の無霜地帯もしくは施設栽培の観光花摘み園

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]



写真1 フォトンシリーズ「フォトンピンク」



写真2 アグロステンマ「ギタゴ」



写真3 カルテットシリーズ「チェリーカルテット」

表1 切り花の日持ち日数

供試品目	供試品種	日持ち日数
ダイアンサス	「フォトンピンク」	8.4
	「フォトンホワイト」	10.0
	「フォトンローズ」	9.1
アグロステンマ	「ギタゴ」	9.7
ストック	「イエローカルテット」	8.4
	「チェリーカルテット」	7.6

注1) 平成26年4月18日、収穫してから約5時間後、ダイアンサスとアグロステンマは切り花長60cm、ストックは切り花長40cmに切り戻して蒸留水へ生けた
 2) 室温23℃、相対湿度70%、12時間日長の条件下で調査

表2 ダイアンサス、フォトンシリーズの月別収穫本数の推移

供試品種	定植日 (月/日)	収穫本数 (本/m ² 、通路は含まない)								
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	計
「フォトンピンク」	8/22	46.2	74.7	24.9	24.9	32.0	53.3	106.7	167.1	526.2
	9/5	—	49.8	67.6	74.7	21.3	53.3	213.3	209.8	689.8
「フォトンホワイト」	8/22	64.0	78.2	28.4	28.4	42.7	85.3	142.2	195.6	661.3
	9/5	3.6	67.6	71.1	35.6	10.7	96.0	213.3	160.0	657.8
「フォトンローズ」	8/22	35.6	81.8	46.2	46.2	35.6	88.9	224.0	288.0	846.2
	9/5	3.6	39.1	60.4	81.8	24.9	88.9	156.4	245.3	700.4

注1) 平成25年度は無加温ガラス温室で栽培、200穴セルトレイに播種して23日間育苗後、定植した
 2) ベッド幅80cmに株間15cm×条間15cmで中央1条抜きの4条植え、m²当たり35.6株定植 (通路は含まない)
 3) 施肥は10a当たり、基肥N:12kg、P₂O₅:12kg、K₂O:12kgとし、追肥はN:5kg、P₂O₅:3kg、K₂O:4.5kgを11月1日に施用した

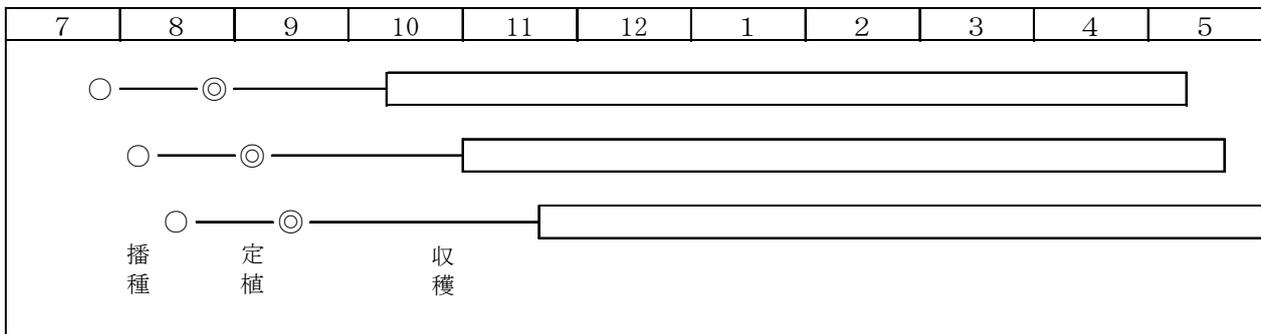


図1 ダイアンサス、フォトンシリーズの栽培暦

表3 アグロステンマ「ギタゴ」の月別収穫本数の推移

試験年度	定植日 (月/日)	収穫本数 (本/m ² 、通路は含まない)								
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	計
平成23年度	8/12	10.0	98.9	196.7	90.0	126.7	153.3	318.9	90.0	1084.4
	9/21	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	78.9	801.1	377.8	1264.4
	10/18	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	191.1	966.7	1157.8
平成25年度	8/22	—	12.2	25.6	60.0	48.9	82.2	171.1	107.8	510.0
	9/5	—	—	7.8	85.6	63.3	82.2	153.3	70.0	462.2

注1) 平成23年度は無加温ハウス、平成25年度は無加温ガラス温室での栽培、200穴セルトレイに播種して3週間前後育苗した後、定植した
 2) ベッド幅80cmに株間30cm×条間30cmの3条植え、m²当たり11.1株定植 (通路は含まない)
 3) 施肥は10a当たり、基肥N:12kg、P₂O₅:12kg、K₂O:12kgとし、追肥はN:5kg、P₂O₅:3kg、K₂O:4.5kgを11月1日に施用
 4) 平成23年度は着花節位側から数えて2節で収穫、平成25年度は分枝部から1節を残して収穫

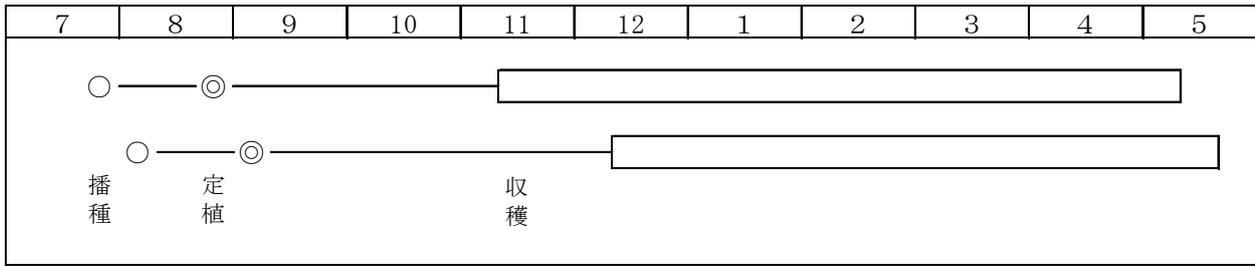


図2 アグロステンマ「ギタゴ」の栽培暦

表4 スプレーストック、カルテットシリーズの分枝仕立て月別収穫本数の推移

供試品種	播種日	定植日	摘心日	収穫本数 (本/m ² 、通路は含まない)							計
				11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
「イエローカルテット」	8/20	9/10	10/17	20.7	32.6	59.3	18.8	12.8	87.9	39.5	271.6
	8/30	9/20	10/24	—	15.8	78.0	28.6	22.7	72.1	43.5	260.7
	9/9	9/30	10/31	—	—	114.6	43.5	18.8	67.2	34.6	278.5
「チェリーカルテット」	8/20	9/10	10/17	8.9	56.3	68.1	20.7	14.8	72.1	26.7	267.7
	8/30	9/20	10/24	—	17.8	104.7	22.7	21.7	62.2	40.5	269.6
	9/9	9/30	10/31	—	—	131.4	32.6	17.8	66.2	35.6	283.5

注1) 平成25年度に無加温ガラス温室で栽培、播種箱にばら播きして育苗、八重鑑別後に定植した

2) ベッド幅80cmに株間15cm×条間15cmで中央1条抜きで4条植え、m²当たり35.6株定植(通路は含まない)

3) 施肥は10a当たり、基肥N:18kg、P₂O₅:18kg、K₂O:18kgとし、追肥はN:5kg、P₂O₅:3kg、K₂O:4.5kgを11月1日に施用

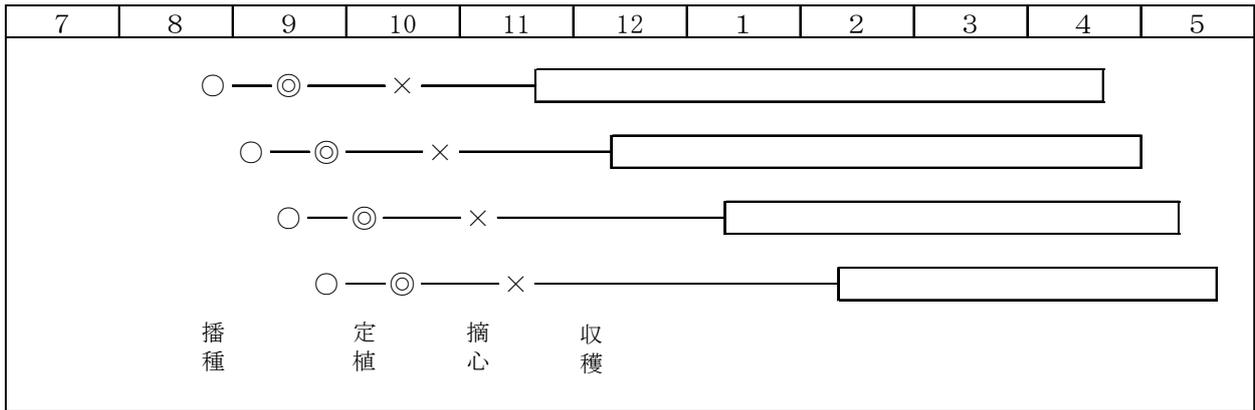


図3 スプレーストック、カルテットシリーズの分枝仕立て栽培暦

[発表及び関連文献]

- 1 平成26年度試験研究成果発表会(観光直売部門)
- 2 プロジェクト研究「南房総地域における観光・直売に適した品目・品種の選定と栽培技術の確立」研究成果集、平成25年3月

[その他]

プロジェクト研究事業「南房総地域における観光・直売に適した園芸品目・品種の選定と栽培技術の確立」(平成22~24年度)